

未来への投資

老朽化対策の推進 予算額 14億2千7百万円(R3:10億2千5百万円)		
主な内容		事業費
末端給水	施設 【状態監視保全と時間計画保全による適切な管理】 諏訪形浄水場中央監視装置更新工事(上田)、 小松原送水ポンプ更新工事(川中島)ほか	803,412千円
	管路 【他工事関連による布設替】 坂城地区中之条工区配水管布設工事(上田)、 布施高田1工区配水管布設工事(川中島)ほか	292,000千円
	【有収率向上対策】 塩化ビニル管の布設替(上田1.2km、川中島1.8km)	231,000千円
小計 (債務負担 495,000千円)		1,326,412千円
用水供給	施設 【状態監視保全と時間計画保全による適切な管理】 本山浄水場急速ろ過設備制御盤取替工事ほか	100,908千円
	小計	100,908千円
合計 (債務負担 495,000千円)		1,427,320千円

耐震化の推進 予算額 11億1千1百万円(R3:11億1百万円)

主な内容		事業費
末端給水	施設 【重要給水施設関連配水池の耐震化】 上田地区下之郷配水池耐震診断(上田)	7,000千円
	管路 【基幹管路の耐震化】 上田:8か所(0.4km)、川中島:14か所(3.7km) [R4:耐震適合率97.6%(目標:R6 100%)]	476,346千円
	【重要給水施設へ至る管路(基幹管路以外)の耐震化】 上田:4ルート、川中島:2ルート [R4:43ルート中34ルート完了(目標:R5 100%)]	206,000千円
小計 (債務負担 500,000千円)		689,346千円
用水供給	施設 【基幹施設(浄水施設)の耐震化】 本山浄水場排水処理施設耐震化設計・工事 [R4:浄水場全体の約6割(事業費ベース)完了(目標:R6 100%)]	167,000千円
	管路 【管路の耐震化】 送水施設支線管路耐震管布設工事(東山支線)(1.4km)ほか [R4:耐震適合率96.7%(目標:R5 100%)]	255,000千円
小計 (債務負担 336,000千円)		422,000千円
合計 (債務負担 836,000千円)		1,111,346千円

※ 重要給水施設:病院や避難所となる学校等の施設(43か所)

浸水対策等の推進 予算額 7千5百万円(R3:1億6千万円)

主な内容		事業費
末端給水	【浄水場等への止水壁の設置、嵩上げ等の浸水対策】 上田:ポンプ場1か所止水壁、川中島:四ツ屋浄水場止水壁	25,000千円
	小計	25,000千円
用水供給	【取水施設の豪雨・水質汚濁等対策】 片平取水場の機能強化対策の検討	50,000千円
	小計	50,000千円
合計		75,000千円

施設のダウンサイジング 予算額 1千3百万円(R3:2千万円)

主な内容	事業費
効率的な施設運用を図るため、ポンプ施設の統廃合を推進 川中島:送水管新設 詳細設計	13,000千円

先端技術の大胆な活用

業務への新たな技術の活用 予算額 5億3千7百万円(R3:3千2百万円)	
主な内容	事業費
浄水場中央監視制御装置の更新とネットワーク化の推進 ・諏訪形浄水場の中央監視制御装置の更新を行うとともに次世代監視制御ネットワークシステムへの接続を推進	530,000千円
新 管路マッピングシステムのモバイル化 ・モバイル端末を活用し、管路情報を迅速に把握、共有できるようにするため、既存システムを改良・整備	3,850千円
新 キャッシュレス決済の導入 ・水道料金のスマートフォン決済を導入	3,279千円
合計	537,129千円

リスクマネジメント

安全・安心の確保に向けた取組 予算額 26億2千6百万円(R3:23億1千4百万円)

主な内容		事業費
末端給水	老朽化対策の推進(「未来への投資」に記載)	再掲 1,326,412千円
	耐震化の推進(「未来への投資」に記載)	再掲 689,346千円
	浸水対策等の推進(「未来への投資」に記載)	再掲 25,000千円
	「安心の蛇口」の整備 ・災害時でも水が出る応急給水拠点を地域の避難所となる施設へ設置 1か所(坂城町) [R4:15か所(目標:R7 20か所)]	4,000千円
小計 (債務負担 995,000千円(再掲))		2,044,758千円
用水供給	老朽化対策の推進(「未来への投資」に記載)	再掲 100,908千円
	耐震化の推進(「未来への投資」に記載)	再掲 422,000千円
	浸水対策等の推進(「未来への投資」に記載)	再掲 50,000千円
小計 (債務負担 336,000千円(再掲))		572,908千円
共通	災害時対応の体制整備 ・受援マニュアルの整備 ・管路マッピングシステムのモバイル化(再掲)	3,850千円
	停電時の電源確保対策(電気・水道事業共通) ・非常時電源として川中島庁舎に配備した可搬式発電機及び搭載車両の活用方法等の検証	—
	防災訓練等の実施 ・「災害時連携協定」に基づく関係市町村等との合同訓練 ・「安心の蛇口」及び「組立式応急給水栓」の活用講習 ・ペットボトル水「川中島の水」・「千曲川の水」の災害用備蓄等	4,466千円
新型コロナウイルス感染症対策 ・感染防止、業務継続体制の確保		—
小計		8,316千円
合計 (債務負担 1,331,000千円(再掲))		2,625,982千円

地域への貢献、地域との連携

広域連携の推進 予算額 6千2百万円(R3:7千8百万円)		
主な内容	事業費	
末端給水	上田長野地域(末端給水区域等)における広域化等に向けた検討 ・研究会による検討の加速化	43,340千円
用水供給	松本地域(用水供給区域等)における広域化・広域連携の検討 新・厚生労働省による調査事業と連動した検討を推進	15,730千円
共通	広域連携による市町村等水道事業者への支援等を行う全県的な体制づくり ・検討に要する経費(広域化啓発チラシの印刷、講師謝金、会場賃借料等・広域連携推進協議会経費に計上)	3,109千円
合計		62,179千円

市町村等水道事業者への支援

主な内容	事業費
「水道事業者なんでも相談窓口」の設置 ・市町村等の水道担当職員からの電話等による質問・相談に回答・助言	—
「水道事業市町村支援チーム」によるお出かけ相談の実施 ・部局横断による市町村支援チーム(環境部、企画振興部及び企業局)が地域振興局とともに市町村に出向き、個別課題に応じて支援・助言	—
「水道事業実務研修会」の開催 ・市町村等の水道担当職員の技術力向上を図る実務研修会を開催	—
新 長野県水道技術アドバイザー派遣等事業の創設 ・県水道協議会と連携し、専門的な技術等を有するアドバイザーを派遣	—
新 民間事業者との連携 ・専門技術・知識・経験等を有する民間事業者との連携による支援	—
有収率向上のための機器の無償貸与・技術支援 ・高感度音圧センサー搭載漏水調査機器の貸出しと技術研修を実施	—
災害応援 ・環境部と連携し、被災事業者に応急給水や技術者派遣等の応援を実施	—

経営の安定

顧客満足度の向上 予算額 2千8百万円(R3:2千7百万円)

主な内容	事業費
きめ細かな水質管理 ・法定の検査項目に加え、企業局独自の検査項目を上乗せして設定した水質検査計画に基づき、質の高い水質検査を実施	—
修繕等への迅速な対応 ・「県営水道修繕センター」を委託設置し、24時間体制で相談を受付	23,034千円
県営水道への理解と関心の向上を図る取組 ・広報紙「けんえいすいどう」、「お客様の声」ハガキ、企業局ホームページ、施設見学会等	1,916千円
新たなツールによるお客様サービスの向上 新 水道料金のキャッシュレス決済(スマートフォン決済)を導入	再掲 3,279千円
合計	28,229千円

柔軟で俊敏な組織づくり(電気・水道事業共通)

主な内容	全体事業費
しごと改革・働き方改革の推進 ・ICTを活用した職場環境整備、職員の自己啓発・健康管理への支援等	24,020千円
持続可能な経営のための戦略的な広報の実施 ・ホームページの充実、県内イベント等におけるPR	20,187千円